

神

シン・ジン
かみ・かん
こう

3年

9画
シイネ
初神



二

なりたち 雷の意味の申と神の意味のネ(しめすへん)との会意形声字。雷は天の神が鳴らすものと考えられ、神鳴りと呼んだ。土地の神を社と名付けたのに対し、天の神を神と名付けた。神社とは本来天地の神々の意味。

いまとしゆくこ
▼天のかみ。不思議な力をもつもの。
神仏：神と仏。神道と仏教。
神代：神の時代。日本の神武天皇以前をさす言葉。
神通力：自由自在に何でもできる不思議な力。
神秘：人間の方では推し測れないような不思議さ。用例 大自然の神秘。

▼心の働き。
精神：①人の心。反肉体 ②物事の根本。用例 建学の精神。
神髓：そのもの中心にある大切な部分。

よみかた 神技・神主・神学・神経・神出鬼没・神道・神妙・氏神・七福神・水神・風神・明神・女神・神々しい
さんこう 特別なよみかた↓
神楽・お神酒

神紳

紳

シン

11画
シイネ
紳



紳

なりたち 伸びるの意味の申と糸との会意形声字で、高位高官の礼装に用いられる装飾用の、前に長く垂らした大帯を表した字。転じて、高位高官の人。また、教養あり品位の高い人を用いる。

いまとしゆくこ
▼昔、身分の高い人の礼装に用いた大帯。
▼教養のある、高位高官の人
紳士：大帯である紳を垂らし礼装をした士(役人)という意味の言葉。①身分の高い男子。②富裕階級の男子。
③教養あり品位の高い男子
④男子の美称。用例 紳士淑女の皆様に申し上げます。

よみかた 貴紳

出

おん
シユツ・スイ
でる・だす

1年

5画
一十中出



なりたち 植物が地上に芽を出した形を表した字。芽をだす、芽がでる、ということから、だす・でるという意味を表した。

いまとしゆくこ

▼出す。出る。
出発：目的地向かって出かけること。用例 出発点(出かける地点。転じて、何かをする最初の時)
出馬：大将が馬で戦いに出かけること。転じて、何かをするために、自ら進んでその場へのり出すこと。用例 選挙に出馬する。

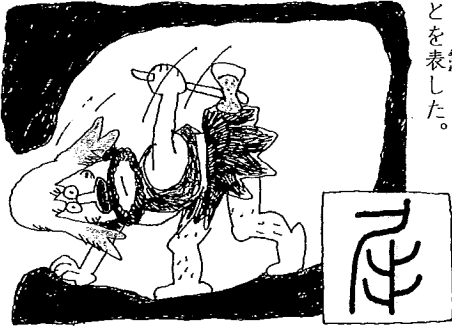
▼あらわす。あらわれる。
輩出：人材が続々と世に出ること。
▼ある場所に出かけること。
出張：勤務地以外の場所に仕事で出かけること。
▼うまれ。身分階級。
出自：うまれ。その人の家柄。

よみかた 出演・出荷・出勤・出家・出現・出産・出資・出身・出題・出帆・出沒・出納・出足・船出・輸出

屈

おん
クツ

8画
一三斤屈屈



なりたち 人の意味の尸と出との会意形声字。昔は穴居生活をしていたので、出口が狭く、身をかかめて外へ出た。人と出とで身をかかめることを表した。

いまとしゆくこ

▼かがめる。曲げる。
屈伸：かがめたり、伸ばしたりすること。用例 伸体操
屈曲：折れまがること。用例 屈曲した川。

▼心がちこまる。くじける。
屈辱：相手に負けて従うこと。「屈伏」とも書く。
屈辱：相手の勢いに負けて恥をかきこと。また、その恥。
退屈：暇をもてあますこと。
屈託：①気にかかることがあつてよくよすること。

よみかた 屈折・窮屈・卑屈・不屈・偏屈・理屈

出屈